

前期課程

中等部に向けて

四年A組 若菜 希美

わたしが中等部になってがんばりたいことは、三つあります。一つ目は、クラブ活動です。いろいろなクラブがあるけれど、私は手芸クラブに入りたいです。なぜかというところは一回母といっしょにマスクを作ったとき、とても楽しかったからです。

二つ目は、教室移動です。五年生になると教室が二階になります。階段をおりるなど移動するのに時間がかかるからです。時間にお



くれないようにしたいです。

三つ目は、初等部のお手本になることです。四年生も一年生から三年生のお手本にならないといけないけれど、かっこいい五年生になって、一年生から四年生がまねするような五年生になりたいです。中等部になると初等部よりもそがしくなると思うけれど自分らしくかっこいいと思われる五年生になりたいです。

中等部に向けて

四年B組 佐野 佑汰

中等部になったら、ぼくは団長になります。今も団には五・六年生がいないので、ぼくが団長をしています。しかし四月からは妹が入学して、妹といっしょに登校することになります。

ぼくが一年生のときの団長さんは、ぼくがけがをしたら「だいたいどうぶ？」と心配をしてくれたり、登下校の歩く速さを合わせてくれたりしました。だから、ぼくも妹や下級生の子がこまっていたら「どうしたの？」と聞いたり、下級生の子に歩く速さを合わせたりしたいです。ぼくができること

だったらすけてあげて、できないことだったら先生にそうだんをします。

初等部の子たちから、たよられるかっこいい五年生になるために、団長をしっかりとがんばりたいです。



中等部に向けて

四年B組 御手洗 康平

ぼくは中等部でがんばりたいことが二つあります。

一つ目は勉強です。五年生になると「家庭科」という教科がふえたと聞きました。今のうちから家で包丁を使った切り方の練習をしたと思います。今は大根をぶつ切

りにすることしかできないので、みそしるに入れられるくらいのおすきにしたいです。ぼくは食べるのが好きで、家庭科がとても楽しみです。

二つ目は、読書です。中等部になると、二階の教室を使うので、メディアセンターが近くなります。休み時間にはすぐに本を探しに行けるので楽しみです。初等部の時よりも本をたくさん読みたいですからすららと本を読むために、漢字の読み書きの練習をしたいと思っています。

大変なこともあるかもしれませんが、中等部での生活をがんばりたいです。





後期課程

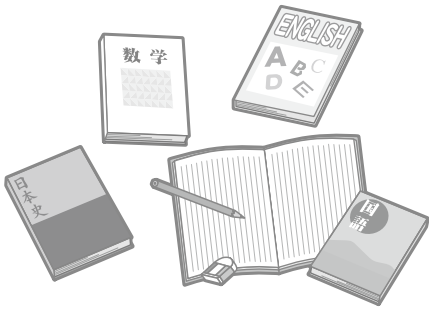
九年生でがんばりたいこと

八年A組 邨井 唯乃

私が九年生になってがんばりたいことは勉強です。九年生では、今までに経験したことのない受験という大きなものがあります。不安なく受験に臨むために、勉強をがんばり、自信をもって受験に挑めるようにしたいです。苦手なところを把握して、なぜ間違えたのかを知り、理解していきたいです。受験勉強では、九年生で学習した範囲だけでなく、七・八年生でならったことも出るので、早いうちから復習しておきたいです。受験では日々の取り組みが結果につながると思うので、今できることを精一杯やろうと思います。

一年間はあつという間に過ぎてしまいます。あきらめない心を持ち、何事にも自ら立ち向かっていきたいです。そのために、目標を毎日決め、勉強以外の部活動や生活面のことにも目を向け、続けられるようにしたいです。できる

かった日はそれを補う日をつくり、徐々にレベルを上げることによって、達成感を味わえるようにしていきたいと思います。



成長

八年B組 青山 悠飛

私は九年生になったらがんばりたいことがあります。それは、学力の向上、人間としての成長、九年生としての意識をもつこと、などです。

学力の向上は、家での勉強に割く時間をつくることや、授業の復習をすることなどが目標です。苦手分野にも取り組んで、九年生で新たなステップに行けるようにしたいです。

人間としての成長は、周りの人に対する優しさ、自分の心の成長などが目標です。私は時々、「友達だから」などの理由で冷たい発言をしてしまうときがあったり、ミスをしてしまったときに何かしらのくだらない理由を言って、変わるはずのない結果から逃れようとしてしまったりすることがあるので、そんな弱い自分を乗り越えたいです。

九年生としての意識をもつことは、日々の生活の改善が目標です。自分は面倒なことが嫌いで、楽な方へ逃げてばかりだったので、自分自身の道を切り拓けるようにな

りたいです。

コロナウイルスや災害などで暗いことが続いていると、ふと自分のやっていることが無駄だと思ってしまうときがあります。しかし、そんなことを考えている暇はありません。私たちは、がんばるしかないのだから。

